

生産事業戦略

2021年11月18日

常務取締役 生産事業部長

小林 京悦



目次

1 生産事業部の活動と方針

2 上半期実績と通期予想

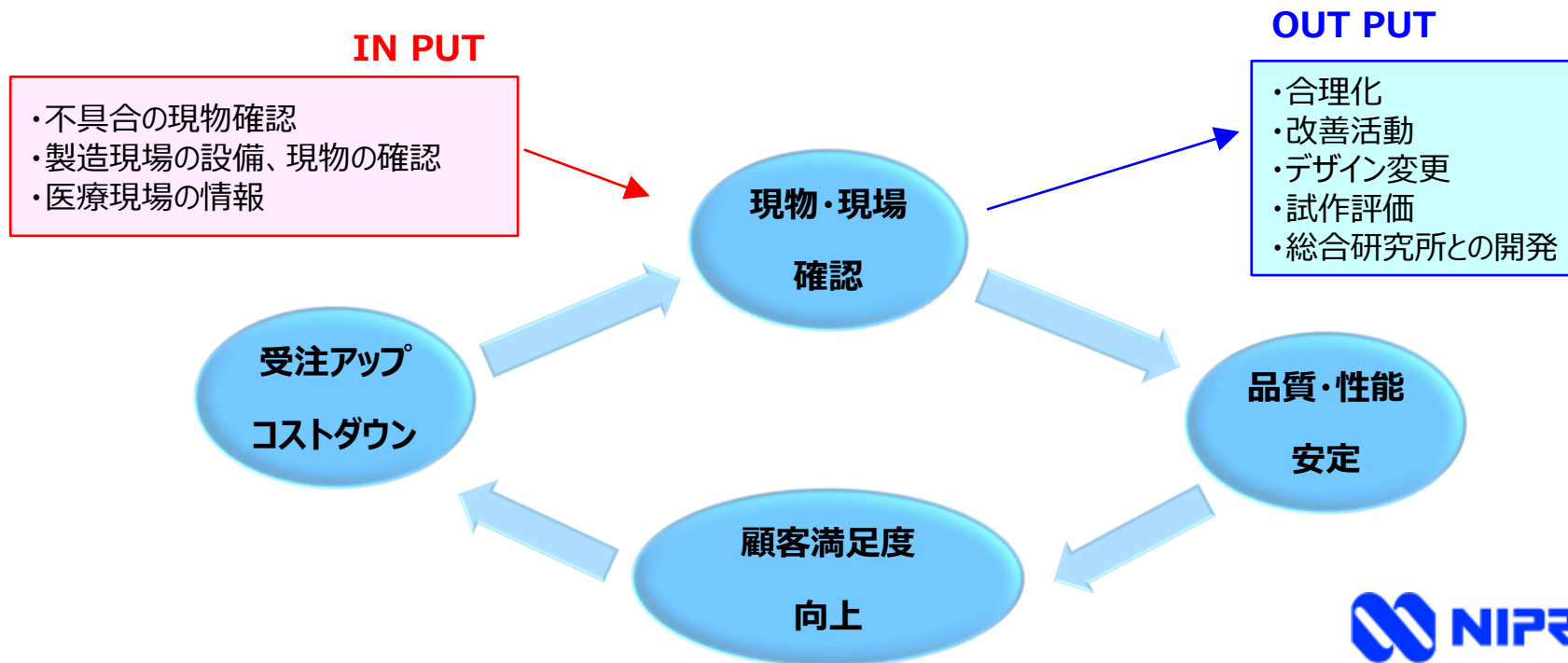
3 工場トピックス

生産事業部の活動方針

テーマ：“現場第一主義”

➤ 方針

- ✓ 現場第一主義に基づき、現物・現場確認による合理化及び改善活動の推進と品質の安定を行い、製品顧客満足度を上げ、受注増に結び付けコストダウンを行う。

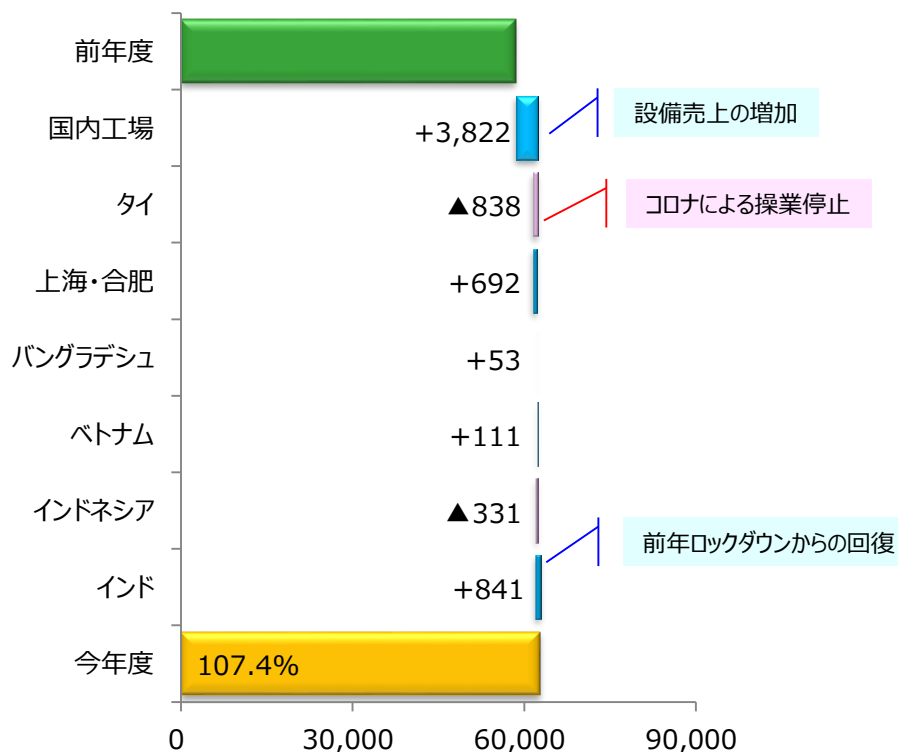


2021年度上半期実績(前年対比)

▶ 新型コロナウイルスの影響

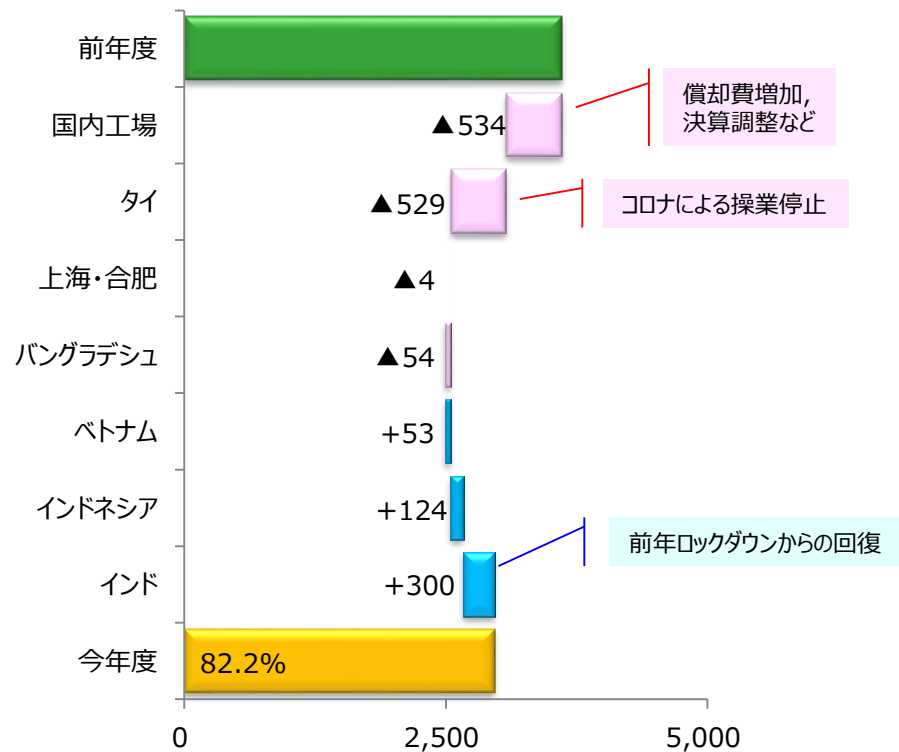
- インドでは昨年のロックダウンからの回復がみられた一方、タイでは操業停止による大きな影響を受ける。

【売上高】



【営業利益】

[百万円]

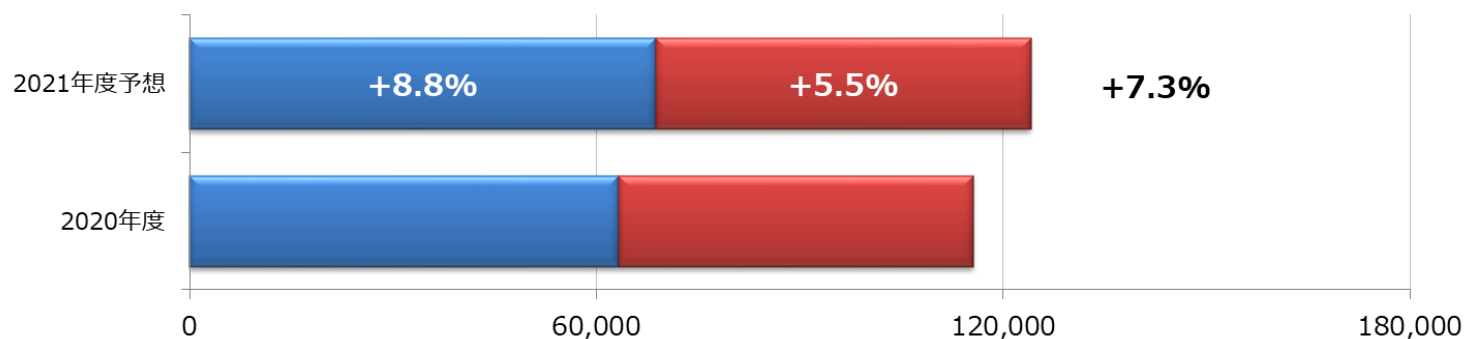


※ 売上高は、関係会社・内部売りを含む
 ※ 営業利益はのれん除く

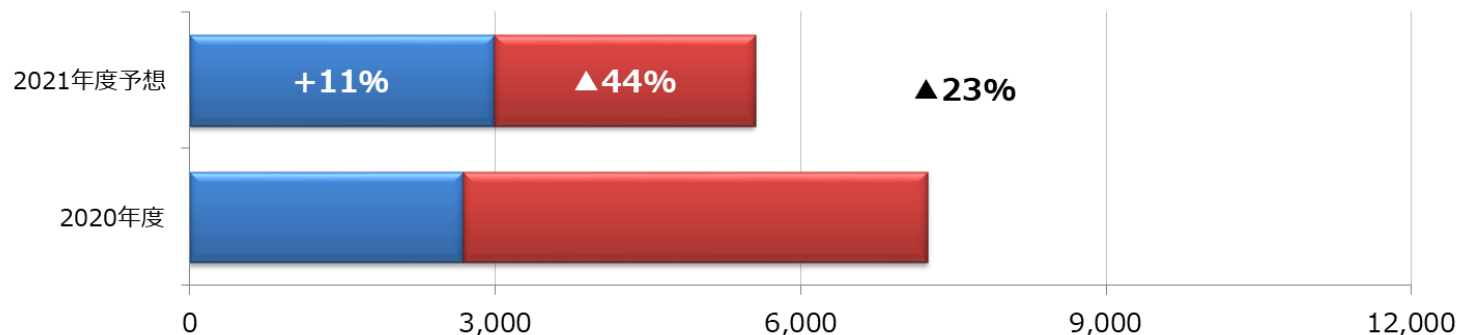
2021年度通期見通し

➤ 増収減益見通し

- 売上高；新型コロナウイルス感染拡大からの回復傾向で前期比+7.3%増収見込



- 営業利益；原油高による原材料費、海上輸送費高騰など前期比▲23%減益予想



[百万円]

- ※ 売上高は、関係会社・内部売りを含む
- ※ 営業利益はのれん除く

工場トピックス

▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響

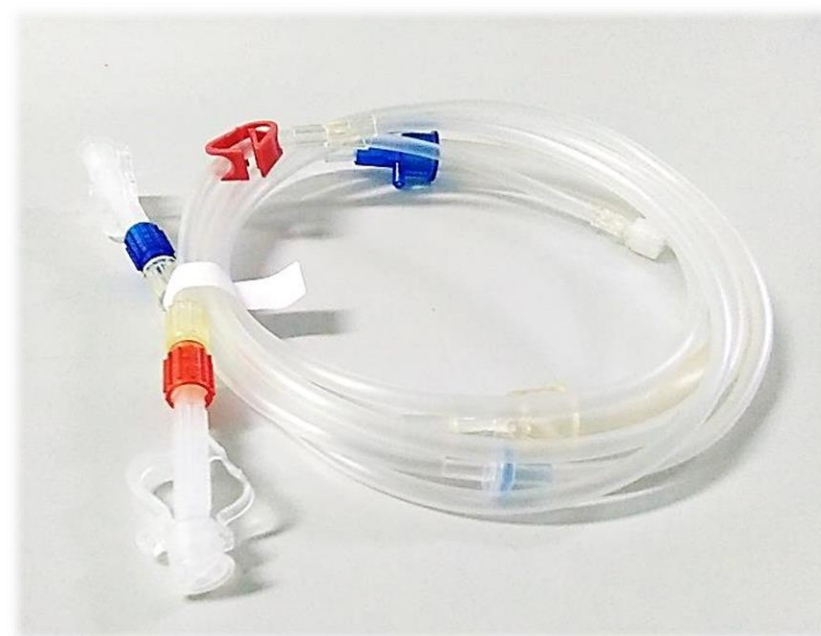
- 2020年当初より発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各地の工場では操業停止に至りました。
- 各工場においては感染対策を緩めることなく、生産活動の維持に努めております。

	2020年												2021年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月						
上海工場	■ ■ ■																											
	1月28日～2月11日(15日間)																											
合肥工場	■ ■																											
	1月30日～2月9日(11日間)																											
インド工場			■ ■ ■ ■ ■																									
	3月23日～4月17日(26日間)																											
インドネシア工場									■ ■ ■																			
													9月15日～20日、28日～10月11日(合計20日間)															
タイ工場																			■ ■ ■ ■ ■									
													6月3日～9日(7日間),徐々に生産開始															
ベトナム工場																			■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■									
													7月15日～10月13日(3ヶ月間)															

工場トピックス

➤ 日本国内向け血液回路の安定供給措置

- 日本国内向けの透析用血液回路セットの一部をベトナム工場から供給しておりますが、ホーチミン市における新型コロナウイルス感染拡大に伴う当該地区の社会的隔離措置の影響を受け、一時的に操業停止および出荷停止に至りました為、新たにインドネシア工場を供給元として追加することで、当該製品の安定供給に努めることと致しました。



工場トピックス

- ▶ ダイアライザの生産体制の強化、世界的な需要増に対応
 - ✓ PESダイアライザ生産ラインの増設
 - 現在建設中の大館第7工場においてもPESダイアライザ生産ラインの増設を行い、中国・合肥工場、インド工場と共に生産体制の強化を図ります。



- ✓ CTAダイアライザー一貫生産工場
 - 第7工場内に新設する工場では、東洋紡が製造するCTA製中空糸を用い、同一工場内で当社が加工製品化する一貫生産ラインを構築することにより、飛躍的な生産効率の向上を図り、生産体制の強化に努めます。

